

平成20年3月期 決算説明会

株式会社東葛ホールディングス

JASDAQ 2754

2008年6月6日

東葛地域





北小金店



柏16号店



五香店



千葉ニュータウン西店



鎌ヶ谷店



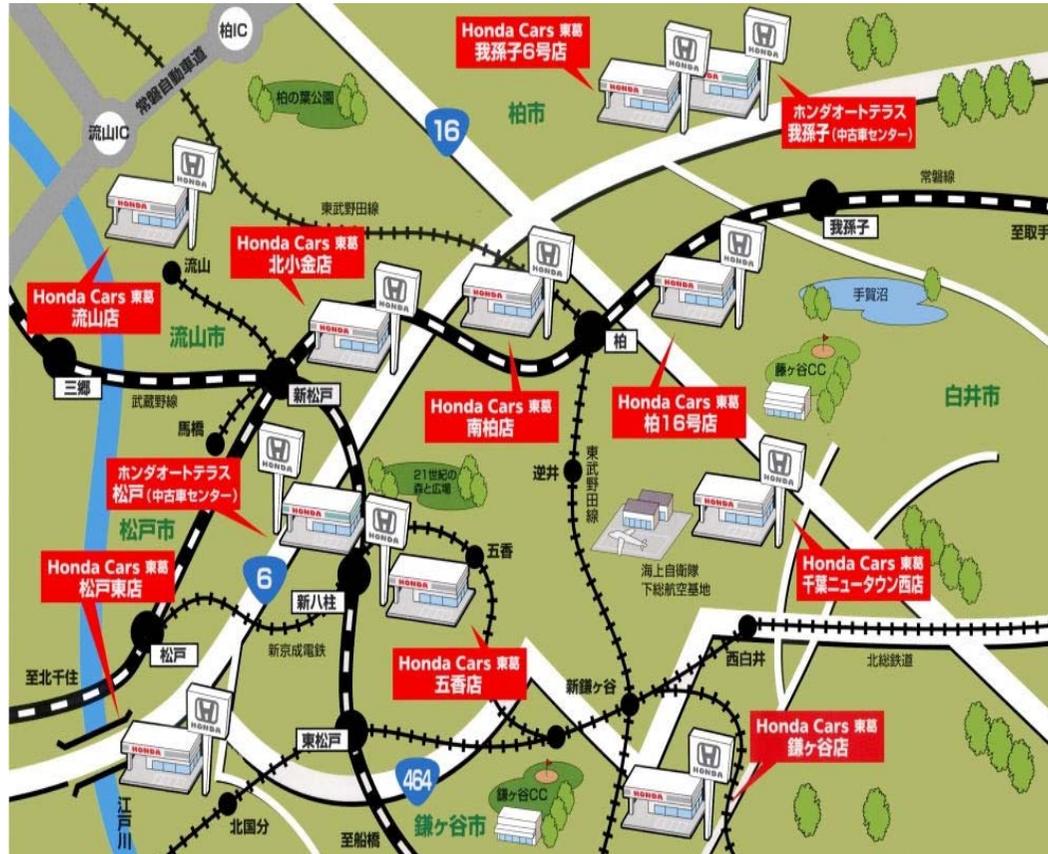
オートテラス松戸



我孫子6号店



オートテラス我孫子



南柏店



流山店



松戸東店

東葛エリアを11拠点でカバーするネットワーク

Contents

- **企業紹介**
- **国内自動車販売の現状**
- **平成20年3月期決算について**
- **平成21年3月期事業戦略及び業績予想**

■ 企業紹介

企業概要

- **社名** : 株式会社東葛ホールディングス
- **設立** : 昭和44年1月
- **資本金** : 210.3百万円
- **従業員数** : 143人（連結）
- **事業内容** : 自動車販売関連事業を中心とした4つの柱
 - ① 新車販売
 - ② 中古車販売
 - ③ サービス（点検整備等）
 - ④ その他（自動車ローン、自動車保険等）
- **連結子会社** : 株式会社ホンダカーズ東葛
株式会社ティーエスシー

（平成20年3月末現在）

■ 国内新車販売の現状

販売台数の現状

■ 平成19年4月～20年3月の国内新車販売台数

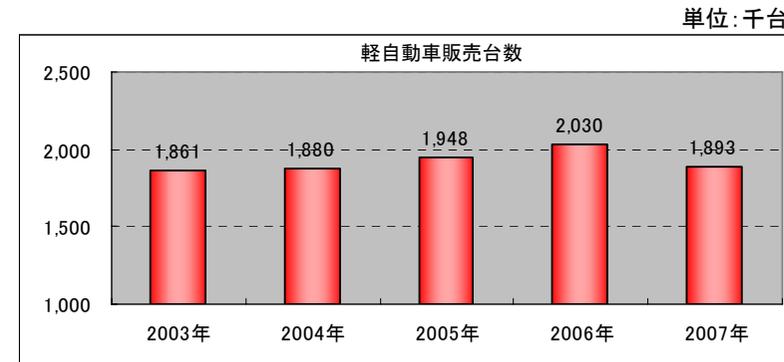
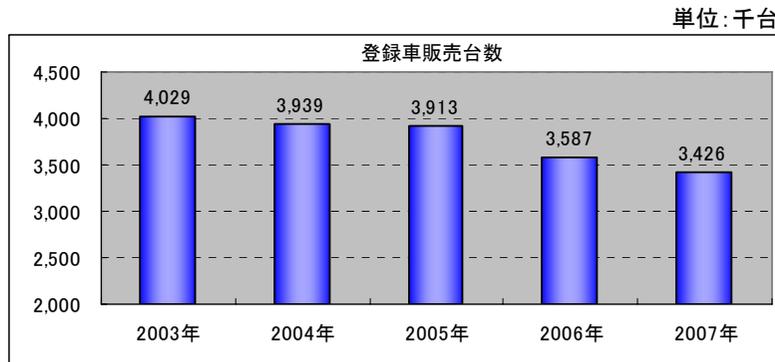
単位:台

	平成18年4月 ～平成19年3月	平成19年4月 ～平成20年3月	対前年比
登録車+届出車	5,618,422	5,319,542	94.7%
登録車	3,587,929	3,426,577	95.5%
届出車	2,030,616	1,893,043	93.2%
Honda	686,309	636,010	92.7%
当 社	2,171	2,097	96.6%

日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会より

販売台数の減少要因

- 登録車は2003年から5年連続対前年実績割れ
- 軽自動車も遂に対前年実績割れ・・・



減少要因

- 総人口の減少、高齢化の進展
- これまでの最大のターゲットである若者の車離れ
- 性能向上による代替サイクルの長期化（平均8.6年）
- 燃料費の高騰など、維持費の拡大による家計への圧迫

■ 平成20年3月期決算について

財務ハイライト I. 財務ハイライト

I. 財務ハイライト(連結)

単位：百万円

	平成19/3期	平成20/3期
売上高	6,476	6,237
営業利益	274	314
経常利益	254	313
当期純利益	150	162
総資産	-	6,925
純資産	-	2,360
1株当当期純利益(円)	31.24	33.68
1株当純資産(円)	-	488.84
1株当配当金(円)	10	10
自己資本比率	-	34.1%
売上高営業利益率	4.2%	5.0%

財務ハイライト II. 貸借対照表（主な項目）

	連結(単位:千円)		前年比(%)
	平成19/3月期(注)	平成20/3月期	
流動資産合計	4,054,743	4,123,654	101.7%
現金及び預金	657,711	807,928	
受取手形及び売掛金	2,653,463	2,655,893	
固定資産合計	2,778,660	2,801,898	100.8%
有形固定資産	2,257,171	2,243,212	
長期貸付金	135,930	128,752	
差入保証金	183,732	210,254	
総資産	6,833,403	6,925,553	101.3%
流動負債合計	3,899,485	3,910,301	100.3%
短期借入金	2,800,463	2,693,641	
固定負債合計	687,544	654,506	95.2%
長期借入金	132,203	109,927	
純資産の部合計	2,246,373	2,360,744	
負債・純資産合計	6,833,403	6,925,553	101.3%

(注)平成19年3月期末に連結子会社が存在していないため、単体の数字を使用しています。

ご注意: この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

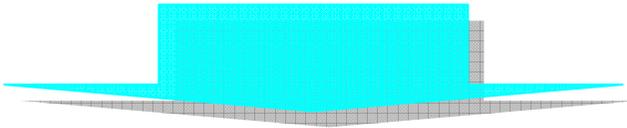
財務ハイライト Ⅲ. 損益計算書（主な項目）

	連結(単位:千円)		対前年比(%)
	平成19/3月期	平成20/3月期	
売上高	6,476,546	6,237,518	96.3%
売上原価	5,057,217	4,778,864	
売上総利益	1,419,329	1,458,654	
販売管理費	1,145,123	1,144,653	
営業利益	274,205	314,001	114.5%
営業外収益	11,416	44,244	
営業外費用	30,745	44,724	
経常利益	254,876	313,520	123.0%
特別利益	300		
特別損失	829	19,715	
税引前当期純利益	254,346	293,805	115.5%
当期純利益	150,905	162,662	107.8%

ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

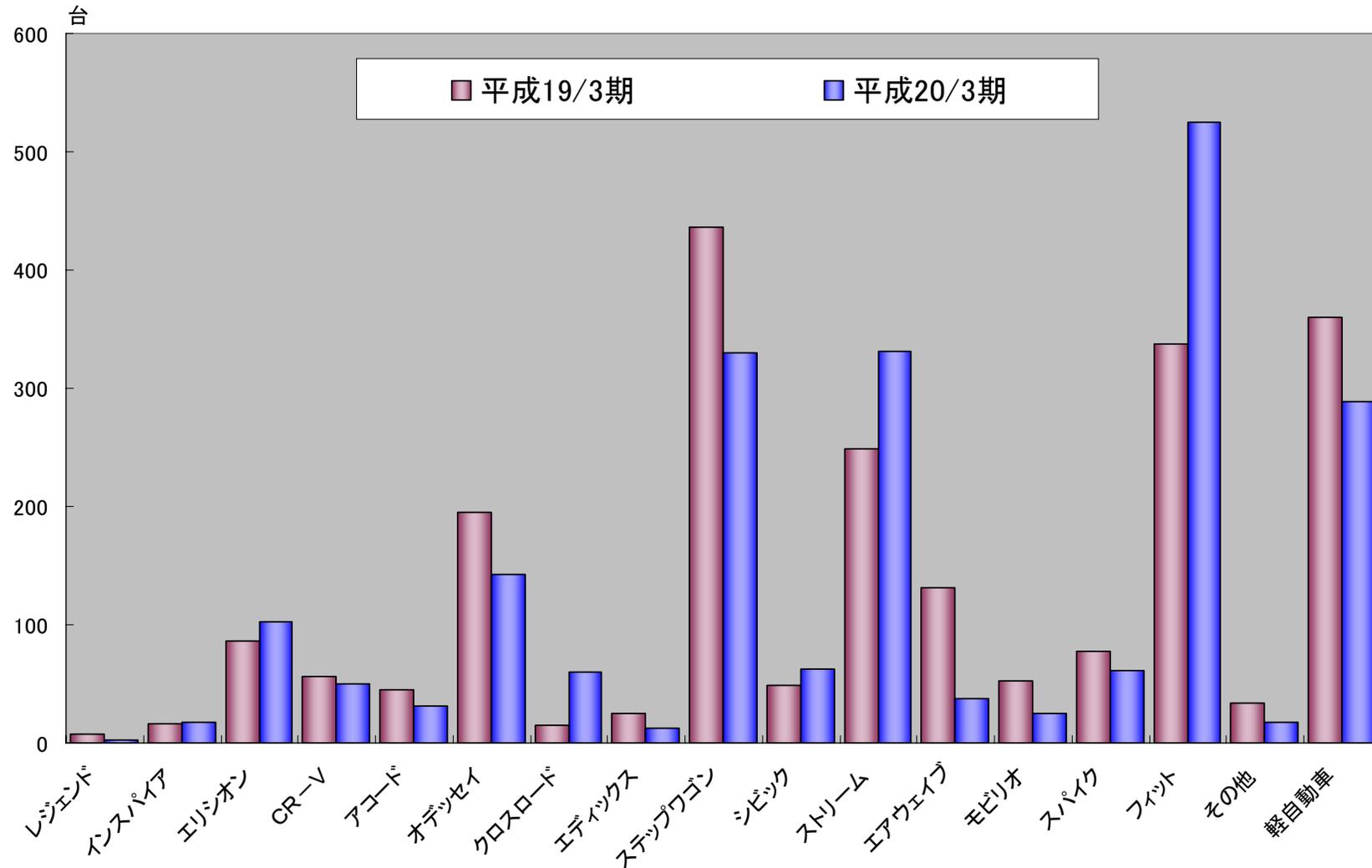
決算のポイント

- 新車部門は、台数は減少するが、新型フィットへのシフトにより軽自動車比率を改善し、増益へ転換
- 中古車部門は台当たり単価の下落はあったが、コスト削減と付加価値アップにより増益を確保
- サービス部門はきめ細かい顧客管理により、車検・点検の入庫率をアップさせ増収・増益
- その他部門は、保険手数料が堅調に推移するも、ローン手数料の大幅減により、減収・減益



売上の約60%を占める新車の販売台数が減少したため、総売上高は▲3.7%と苦戦するが、営業利益は14.5%の増加、経常利益純利益とも前期に比し増加

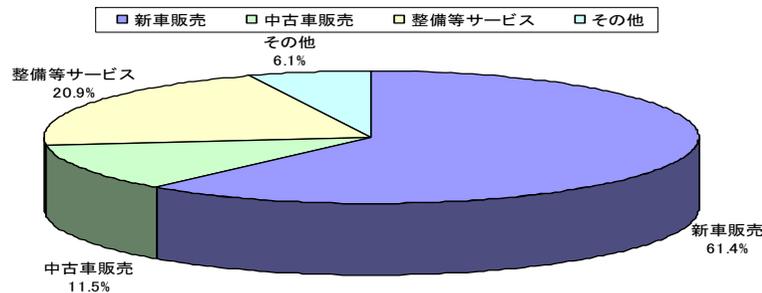
平成20年3月期決算 車種別新車登録台数



ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

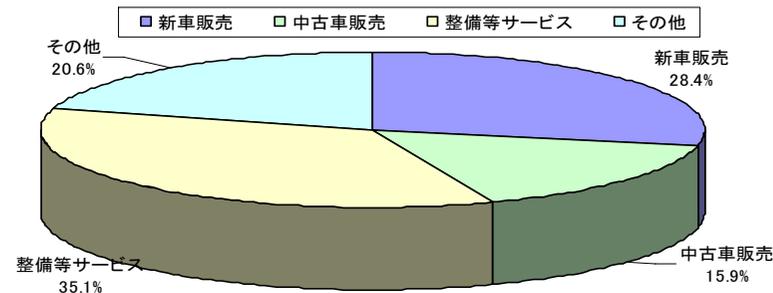
部門別構成比

《部門別売上高(連結)》



	売上高 (単位:百万円)			
	平成19/3期	平成20/3期	前期比	構成比
新車販売	4,025	3,832	95.2%	61.4%
中古車販売	751	719	95.7%	11.5%
サービス	1,284	1,302	101.4%	20.9%
その他	415	383	92.4%	6.2%
合計	6,476	6,237	96.3%	100.0%

《部門別粗利益(連結)》



	粗利益 (単位:百万円)			
	平成19/3期	平成20/3期	前期比	構成比
新車販売	386	414	107.2%	28.4%
中古車販売	203	231	113.6%	15.9%
サービス	493	512	103.7%	35.1%
その他	334	300	89.7%	20.6%
合計	1,419	1,458	102.8%	100.0%

ご注意: この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

業界平均との収益力比較

主要財務データ比較 (参考)

収益力（経常利益率）において、他社を大幅に上回っている。

単位: 百万円

	当 社		他社データ・業界 (全国1, 259社平均)		他社データ・ホンダ (全国H販売会社593社平均)	
	平成20/3期	売上高対比	平成19/3期	売上高対比	平成20/3期	売上高対比
売上高	6,237	—	10,072	—	2,602	—
売上総利益	1,458	23.4%	1,539	15.3%	617	23.7%
営業利益	314	5.0%	119	1.2%	23	0.9%
経常利益	313	5.0%	118	1.2%	28	1.1%
当期純利益	162	2.6%	110	1.1%	17	0.7%

※他社データ・業界は日本自動車販売協会連合会より。平成20年3月期のデータが出ていないため、平成19年3月期の数字を表示。
他社データ・ホンダは当社調べ

ご注意: この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

■ 平成21年3月期事業戦略および業績予想

事業戦略<新車部門>

- 新車販売は、本田技研工業株式会社の新車を販売
- (株)ホンダカーズ東葛として9店舗の新車拠点を運営

<取扱車種>

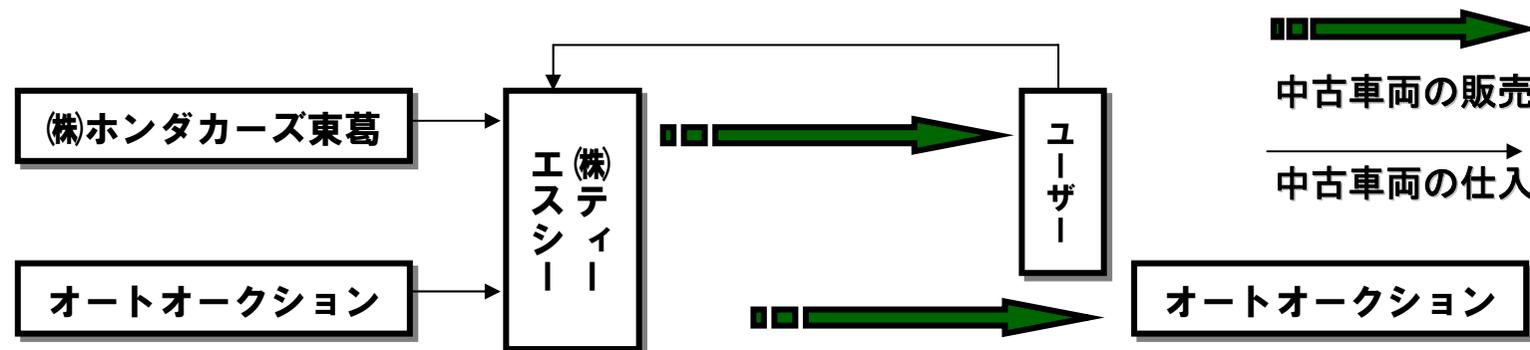
レジェンド、アコード、アコードワゴン、S2000、CR-V、インスパイア、エリシオン、エディックス、オデッセイ、ステップワゴン、ストリーム、フィット、フィットアリア、モビリオ、モビリオスパイク、エアウェイブ、パートナーシビック、シビックハイブリッド、クロスロード、ライフ、バモス、バモスホビオ、ゼスト、アクティ、アクティトラック

- 通期ではフィット・ステップワゴン・ストリームなどの主力車種の拡販、5月発表新型車フリード、また下期にモデルチェンジが予想されるオデッセイ・アコード、ホンダ広報が発表している新型ハイブリッド車などに徹底的に取り組み、販売台数の増加を実現する



事業戦略＜中古車部門 -1＞

- (株) ティーエスシーとして中古車拠点2店舗を運営
- 2店舗にサービス工場を併設し、お客様へのビフォー・アフターサービスを充実させ、顧客満足度の向上を図る
- (株) ホンダカーズ東葛の査定技術力強化により、新車販売時の下取り車両の入庫促進の連携を徹底推進
- HP上の中古車情報のタイムリーな改廃等による情報発信に努め集客率のアップを図る
- **ホンダ車以外の販売を行う第3の店舗、千葉流山インター店 2008年7月にオープン。**



ご注意：この資料は、当社の一般公開情報に基づいて作成された資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

事業戦略<中古車部門 -2>

<これまでの新車販売時の下取車の流れ>

・現状、新車販売時の下取車は半数がHonda車で、半数がHonda車以外である。

Honda車は既存店であるAT松戸・我孫子店にて販売



(直 販)



⇒ 業販は薄利にて流出しているのが現状
利益創出源泉の喪失



他メーカー車はオートオークション等へ

(業 販)



事業戦略<中古車部門 - 3 >

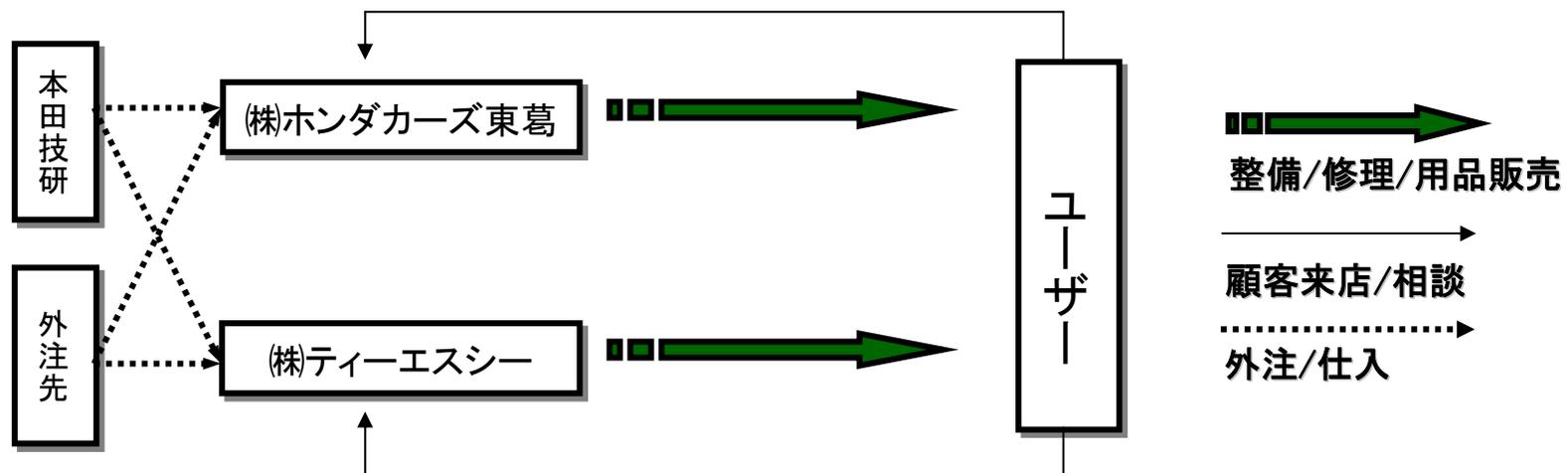
<7月以降の新車販売時の下取車の流れ>



事業戦略<サービス部門>

- ホンダカーズ9拠点・ティーエスシー2拠点の全店にサービス工場を設置
- 現在認証工場の4拠点の指定工場化を目指す

効率化とお客様満足度の向上を図る。



事業戦略<その他部門・ローン>

当社グループの中に、「信販会社」があるイメージ

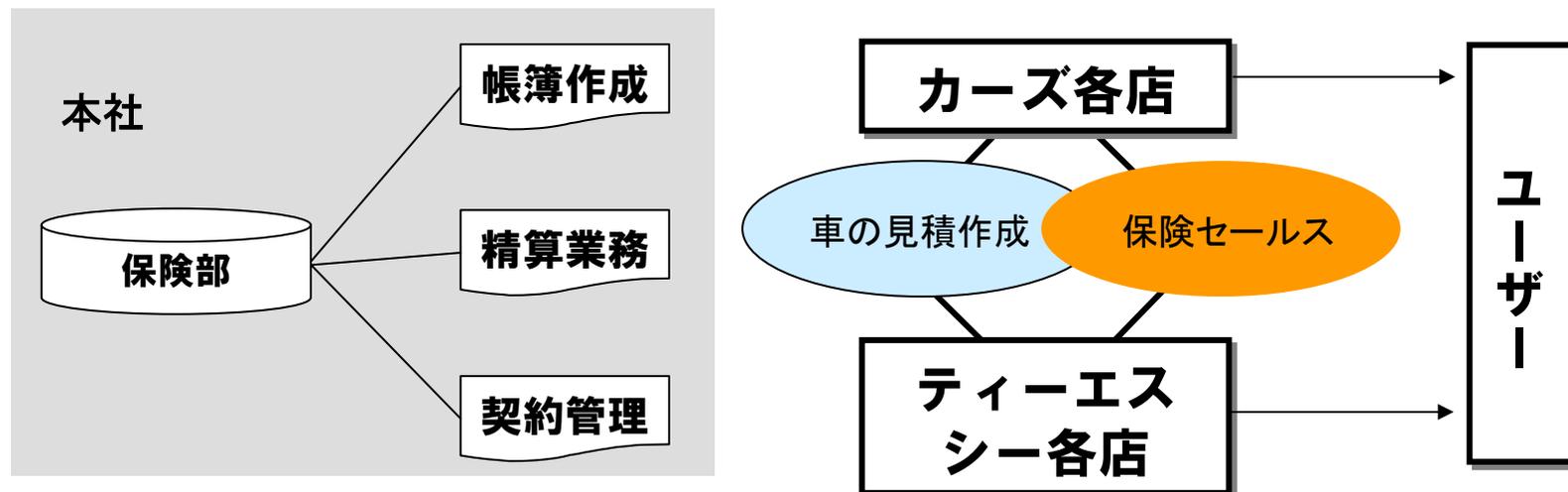
- 主力商品：自動車ローン「ホンダ東葛オリジナルローン」
（ローン手数料収入）の徹底推進

一般の自動車ローンが「立替払い方式」を多く採用しているのに対し、
当社では「集金保証方式」を採用し、収益の安定確保につなげています。



事業戦略<その他部門・損害保険>

- カーズ・ティーエスシーの2代理店を設置、それぞれの顧客にきめ細かい管理対応を実現
- 2代理店ともあいおい損害保険株式会社の保険代理店の最上級種別である「特級」の認定を受ける
- 双方に保険部を設置し、各拠点の成績管理・進捗督励・営業マンへの保険知識・販売技術の研修を行い、事務処理の後方支援を請け負う



事業戦略<生命保険 - 1 >

- 4月1日付けで新設分割により株式会社東葛プランニングを設立
- 来店型総合保険ショップ<ライフ・サロン>の展開

株式会社東葛プランニング

LifeSalon



事業戦略<生命保険 -2>

つくって、あずける。保険ラボ&バンク 「ライフサロン」

来店型保険ショップ

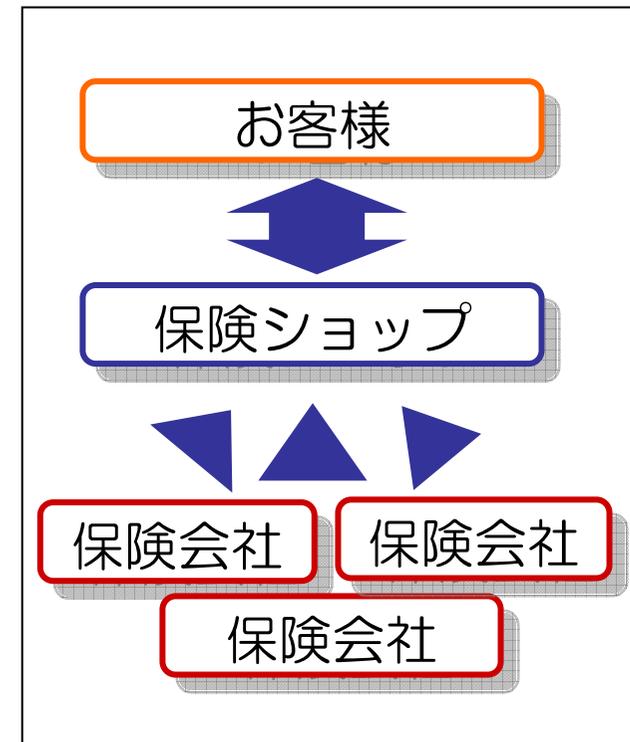
- ・じっくり相談ができる場所
- ・店頭には保険のパンフレットなし

お客様は「セールス」を望んでいない。
お客様は「相談できる窓口」を必要としている。

自分の保険と一緒に作ってくれる人を求めている。

お客様に代わって、保険を考え、
作り、購入してあげること

これこそ今、最もお客様が求めているスタイルである。



保険SHOPが保険各社の中から
最適な商品を選んでお客様に提案

事業戦略<生命保険 - 3 >

■保険のプロ／株式会社リンク・トラスト（「ライフサロン」の本部）

経営コンサルティング会社日本エル・シー・エーにて有力JAの共済販売指導及び大手保険会社の指導に当たるなどの実績を持つ、保険販売コンサルティング・保険販売研修の専門部隊が株式会社リンク・トラストを設立。真に顧客中心主義の保険ショップを展開。

充実した教育制度

■FC展開のプロ／株式会社ベンチャー・リンク（東証1部）

これまで19社、30ブランド以上のFC展開を手掛ける実績を持つ。支援し、上場した会社には、株式会社サンマルク（現株式会社サンマルクホールディングス）、株式会社ガリバーインターナショナル、株式会社ゴルフパートナー、アークランドサービス株式会社など10社を数える。
2年で500店舗超と成長目覚しいブランド、女性のための30分フィットネス「カーブス」は同社の子会社。

スピーディーな店舗展開によるブランディング

事業戦略<生命保険 - 5 >

2008年3月を皮切りに

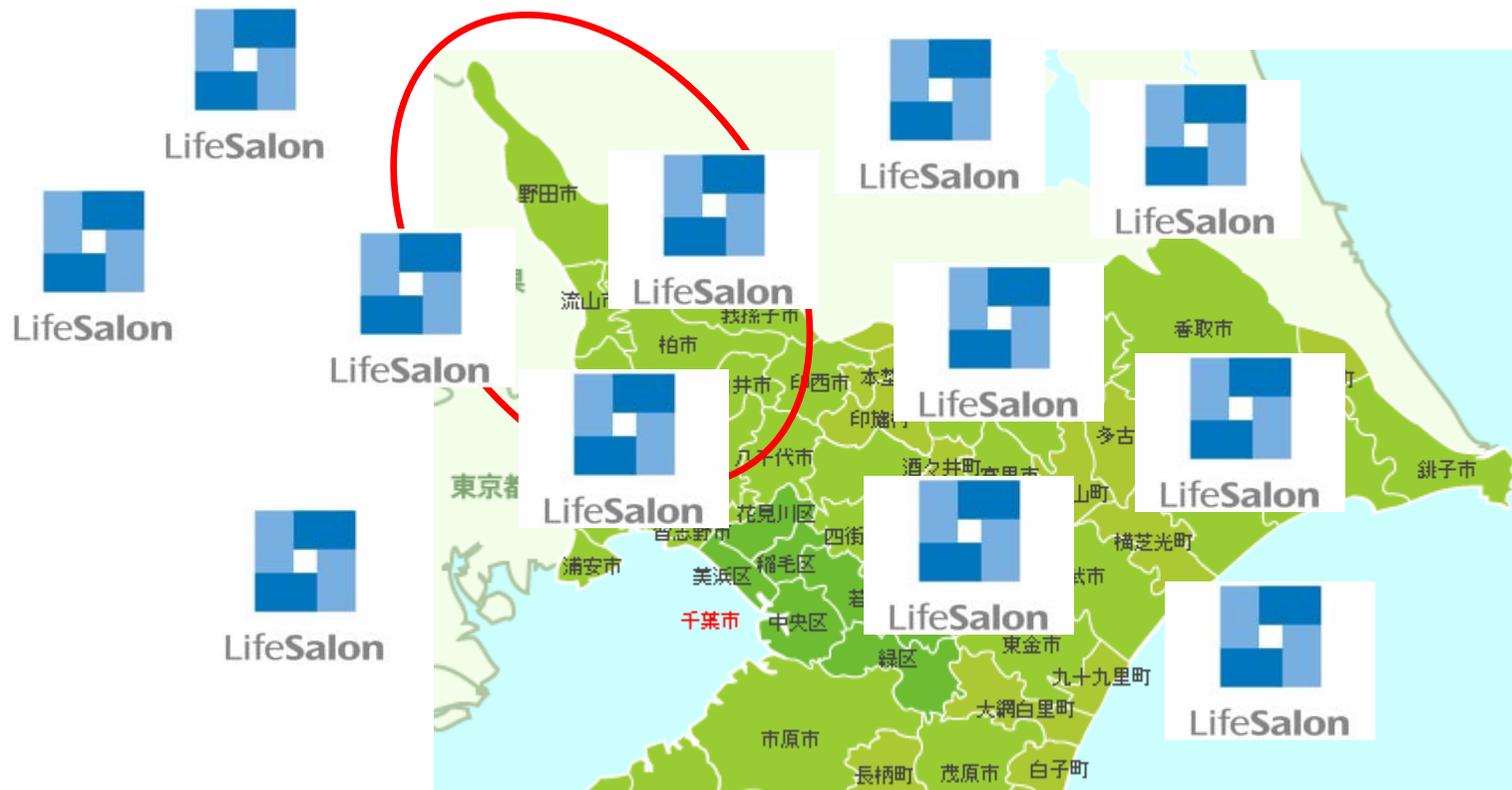
全国展開開始

既に400店舗以上の展開決定



事業戦略＜生命保険 - 6＞

- 平成20年6月現在、松戸・柏にそれぞれ1店舗を展開中



- 平成20年7月新松戸店オープン予定

平成21年3月期業績予想

(単位:百万円)

	20年3月期 通期	21年3月 期中間	21年3月 期通期	増減率(%)
売上高	6,237	2,927	6,386	2.4%
経常利益	313	83	251	▲19.8%
当期利益	162	49	149	▲7.9%

- 国内新車販売は依然、厳しい状況ではありますが、新型車効果を最大限活用し、販売台数の増加を目指します。
しかしながら、新規事業への初期投資がかさむことから、当期中の収益は見込めない見通しであります。

IR連絡先

本件に関するお問い合わせ先

- 株式会社東葛ホールディングス IR担当
- 本社：千葉県松戸市小金きよしヶ丘3-21-1
- 電話番号：047-346-1190
- ファックス：047-345-1159
- ホームページ：<http://www.tkhd.co.jp>